

《令和6年度 建設部 組織目標の達成状況》

◆目標管理者

技監	高松 弘泰
部長	松尾 俊彦
専門理事	島田 稔
理事	荻下 則浩

主

令和6年度当初予算概要に掲載の事業に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和6年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和6年度の具体的な取組 【年度末実績】
・主要幹線道路では慢性的な交通渋滞が生じており、生活道路への交通流入量が増加傾向であることから、渋滞緩和や交通アクセスの確保を図るため、主要幹線道路の整備が求められています。 1 社会インフラは「市民の安全・安心の確保」「持続可能な地域社会の形成」「経済成長の実現」という役割を担っており、また自然災害が近年に激甚化・頻発化している側面からも、老朽化が加速する社会インフラがその機能を将来にわたって適切に発揮できるよう「持続可能なインフラメンテナンス」の必要性が高まっています。	・主要幹線道路として整備を進めている大江霊仙寺線南笠工区の整備を計画的に進めます。 ・草津駅周辺、特に野村運動公園付近における交通混雑の解消のため、大路野村線の早期整備を目指します。 ① 草津川跡地(区間6)道路の整備に伴い交通量の増加が見込まれることから、東草津北2号線の拡幅整備を進めます。 ・維持管理や更新等にかかるコストの縮減、予算の平準化を図るため、定期点検結果を踏まえた優先順位に基づき、撤去・集約も視野に計画的に修繕・更新等の対策を進めます。	【取組】 ・大江霊仙寺線南笠工区その2区間の整備に向けた取組を進めます。 (事業費 43,030千円 ※令和5年度予算明許繰越費含む) ・大路野村線の整備を行います。 (事業費 301,469千円 ※令和5年度予算明許繰越費含む) ① 東草津北2号線の工事着手に向け、用地取得を行います。 (事業費 273,583千円) 【成果目標】 ・南笠工区その2区間の整備に向け実施設計業務等を進めます。 ・大路野村線の拡幅整備に向けて引き続き用地取得を進めるとともに、一部区間の工事を進めます。 ・東草津北2号線の工事着手に向け、用地取得を進めます。	【取組実績】 ・大江霊仙寺線の整備に向けた取組を進めました。 (事業費 42,099千円 ※令和5年度予算明許繰越費含む) ・大路野村線の整備を進めました。 (事業費 200,991千円 ※令和5年度予算明許繰越費含む) ・東草津北2号線の整備に向けた取組を進めました。 (事業費 33,425千円) ① 【成果目標実績】 ・南笠工区その2区間の整備に向け実施設計業務及び一部区間の用地測量業務を完了しました。 ・大路野村線の拡幅工事により、交差点付近の供用開始を行いました。一部区間の拡幅工事については、引き続き来年度に工事を進めます。 ・東草津北2号線における地権者1軒の買収を行いました。来年度も引き続き、工事に向けて、買収を進めます。
・平成25年度の台風18号をはじめ、近年集中豪雨が多発しているなか、市内の既設河川や排水路については、河道の土砂堆積などによる通水阻害の解消が求められています。 2 雨水幹線については、重点整備による効率的な整備が必要です。	・令和2年度に総務省が新たに創設した「緊急浚渫推進事業債」を活用し、市内で緊急的に実施する必要がある河川等について、浚渫・樹木伐採等を計画的に実施します。 ② 市内の雨水幹線整備を計画的に進めます。	【取組】 緊急浚渫推進事業債を活用し、通水障害となる堆積土の浚渫および樹木等の撤去を行います。 (事業費 37,400千円) ③ 【成果目標】 市内3河川、2調整池にて浚渫・伐採事業を実施します。 【取組】 雨水幹線の整備を行います。 (事業費 384,700千円 ※令和5年度予算明許繰越費含む) ④ 【成果目標】 事業計画整備面積に対する整備達成率 68.6%(令和5年度末 68.2%)	【取組実績】 通水障害となる堆積土、樹木等の撤去を行いました。 (事業費 37,540千円) ③ 【成果目標実績】 市内3河川、2調整池にて浚渫・伐採事業を実施しました。 【取組実績】 雨水幹線の整備を実施しました。 (事業費 227,522千円 ※令和5年度予算明許繰越含む) ④ 【成果目標実績】 事業計画整備面積に対する整備率 68.4% (令和5年度末 68.2%)
・市民等のニーズを踏まえた公園・緑地の整備が必要です。 ・開園から35年以上が経過しているロクハ公園プールについて、市民ニーズ等を踏まえ、最適な整備運営の検討を行います。 3 第3次草津市みどりの基本計画に基づき、「ガーデンシティくさつ」を推進する必要があります。	・野路公園の整備を進めます。 ③ ③ ロクハ公園プール基本計画を策定します。 ・市内公共空間におけるガーデニング活動の促進を図ります。	【取組】 野路公園の用地取得を進めます。 ⑤ 【成果目標】 野路公園用地取得率 90%(令和5年度末 28%) 【取組】 民間活力導入にかかる調査を踏まえ、検討委員会での議論を経て、今後のロクハ公園プールの方針等に係る基本計画を策定します。 (事業費 18,041千円 ※令和5年度予算明許繰越費含む) ⑥ 【成果目標】 ロクハ公園プール基本計画を策定します。 【取組】 市内におけるガーデニング活動団体の支援を行います。 (事業費 707千円) ⑦ 【成果目標】 ガーデニング活動参加者延べ人数 544人(令和5年度 572人)	【取組実績】 野路公園の用地取得に向けて、地権者や関係者との交渉を進めました。 (事業費 1,057千円) ⑤ 【成果目標実績】 野路公園用地取得率 28% ※交渉を行いました、用地取得に至りませんでした。 主 【取組実績】 民間活力導入にかかる調査を踏まえ、計2回の検討委員会を開催し、今後のロクハ公園プールの方針等を検討した結果、今後の物価上昇の動向を注視することとなり策定期間を変更しました。 (事業費 18,009千円 ※令和5年度予算明許繰越費含む) ⑥ 【成果目標実績】 今後の物価上昇の動向を注視することとなり、基本計画策定を令和7年度に変更しました。 【取組実績】 市内におけるガーデニング活動の支援を行いました。 (事業費 602千円) ⑦ 【成果目標実績】 ガーデニング活動参加者延べ人数 599人

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など) 4・草津川跡地の未整備区間の公園整備を進めていく必要があります。 ・草津川跡地公園の良好な環境や空間を維持するとともに、新しい生活様式に対応した魅力的な公園運営を行う必要があります。	2. 重点目標 ④・区間4について、滋賀県をはじめとした関係機関と連携して整備を進めます。 ・区間6について、滋賀県や栗東市をはじめとした関係機関と連携して整備を進めます。 ・区間2、5(ai彩ひろば、de愛ひろば)について、民間ノウハウを生かした指定管理者による管理を行うとともに、草津まちづくり株式会社や園内の店舗事業者、市民活動など、多様な主体が関わる公園運営を行い、にぎわいを創出します。	3. 目標達成のための取組と成果目標 ⑧【取組】 ・区間4JR琵琶湖線草津川トンネルの交差部の道路拡幅整備完了後に、道路付帯施設(広場)の管理を行います。 ※都市再生本部会議関連事項 (事業費 3,201千円) ・区間6の整備を滋賀県や栗東市をはじめとした関係機関と連携して整備を進めます。 ※都市再生本部会議関連事項 (事業費 219,312千円) ・草津川跡地公園について指定管理者による管理を行います。 (事業費 104,500千円) 【成果目標】 「草津川跡地の空間整備」に満足している市民の割合 42.1%(令和5年度実績 36.5%)	4. 課題解決に向けた令和6年度の具体的な取組 【年度末実績】 主⑧【取組実績】 ・区間4JR琵琶湖線草津川トンネルの交差部の道路拡幅整備完了後に、道路付帯施設(広場)の管理を行いました。 (事業費 3,085千円) ・区間6の整備を滋賀県や栗東市をはじめとした関係機関と連携して整備を進めました。 (事業費 50,561千円) ・草津川跡地公園について指定管理者による管理を行いました。 (事業費 103,241千円) 【成果目標実績】 「草津川跡地の空間整備」に満足している市民の割合39.5% ※令和6年度の成果目標は未達成となりましたが、工事や管理運営など様々な取組を進め、令和5年度と比べ満足している市民の割合は上昇しました。
5平成30年11月に策定した『(仮称)草津市立プール整備基本計画』の基本方針である「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」の実現を図るため、令和7年に開催の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の水泳競技会場として、また、大会後の利活用を見据えて、草津市立プールの整備・運営を進めます。	⑤令和6年8月の供用開始に向け、事業者や滋賀県をはじめとする関係機関等と連携しながら、計画的な事業進捗を図ります。	⑨【取組】 ・引き続き、PFI方式により草津市立プールの整備を進めるとともに、運営面についても、事業者や関係団体等とともに、施設の供用開始に向けた準備を進めます。 ・引き続き、周辺道路の改修工事を進めます。 ※都市再生本部会議関連事項 (事業費 4,087,711千円 ※令和5年度予算明許繰越費含む) 【成果目標】 PFI方式により建築工事を進め、令和6年8月に草津市立プールの供用開始を行います。また、周辺道路の改修工事を進めます。	主⑨【取組実績】 ・引き続き、草津市立プールの整備を進めるとともに、開業準備業務や運営・維持管理業務についても、事業者や関係団体等と施設の供用開始に向けた準備を進め、令和6年8月に供用開始することができました。 ・引き続き、周辺道路の改修工事を実施し、令和6年7月に工事を完了することができました。 (事業費 4,127,054千円 ※令和5年度予算明許繰越費含む) 【成果目標実績】 ・草津市立プールについては、PFI方式により着実に工事を進め、令和6年8月に供用開始することができました。 ・周辺道路については、改修工事を着実に進め、令和6年7月に工事を完了することができました。
6・改良住宅は、入居者の代替住宅として建設したものであり、地域での安定した暮らしに向けて、国の承認を得て、有償譲渡を進める必要があります。 ・平成29年度に外部有識者による改良住宅譲渡審議会を設置し、有償譲渡に向けた課題整理を行いました。 ・令和元年度から譲渡処分を開始しました。今後も継続して譲渡処分を進める必要があります。	⑥有償譲渡を希望される入居者に対し、順次譲渡処分を進めます。	⑩【取組】 譲渡の申込希望があった40名(44戸)のうち20名(22戸)の譲渡の完了を目指すとともに、残りの20名(22戸)の譲渡に向けた手続きを進めます。 ※同和対策本部会議関連事項 (事業費 140,612千円) 【成果目標】 譲渡戸数 20名(22戸)(令和5年度実績 3名(3戸))	主⑩【取組実績】 譲渡の申込者40名(44戸)のうち7名(7戸)の譲渡を完了しました。また33名(37戸)の申込者に対し、譲渡に向けた手続きを行いました。 ※同和対策本部会議関連事項 (事業費103,245千円) 【成果目標実績】 譲渡戸数 7名(7戸)
7・高齢化の進展により、公営住宅のニーズが高まっています。 ・本市の公営住宅の多くは、昭和50年代に建設しており、老朽化が進むとともに、バリアフリーの問題など、超高齢社会への対応や子育て世帯が住みやすい環境づくりが必要です。 ・平成29年度に改訂した「草津市市営住宅長寿命化計画」において、老朽化した公営住宅の建替や長寿命化対策等を位置付けています。	⑦・常盤団地の長寿命化対策を推進します。 ・木川、西一・下中ノ町団地の建替事業に着手し、必要な調査や方針の策定等を行います。	⑪【取組】 常盤団地C棟工事を完成させ、外構工事に着手します。 (事業費 310,601千円) 【成果目標】 常盤団地の長寿命化された住戸数 24戸(C棟) ⑫【取組】 PFI導入可能性調査やアスベスト調査を実施するとともに、建替事業に必要な実施方針の策定・改訂と地籍測量・境界確定を行います。 (事業費 46,311千円) 【成果目標】 令和7年度に仕様書が作成できるよう、必要な調査や方針の策定等を行います。	主⑪【取組実績】 常盤団地C棟工事を完成させ、外構工事に着手しました。 (事業費 300,024千円) 【成果目標実績】 常盤団地の長寿命化された住戸数 24戸(C棟) 主⑫【取組実績】 PFI導入可能性調査やアスベスト調査を実施するとともに、建替事業に必要な実施方針の策定・改訂と地籍測量・境界確定を行いました。 (事業費 44,951千円) 【成果目標実績】 令和7年度に仕様書が作成できるよう、必要な調査や方針の策定等を行いました。